

Dance with Heart  
The Kikunokai Troupe  
We are burning with enthusiasm  
in creating national art for the new era.  
Chairperson Michiyo Hata

# 日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会

〒161-0031  
東京都新宿区西落合2-21-23  
TEL 03-5983-6001 (代表)

京都八瀬研修所

〒601-1254  
京都市左京区八瀬野瀬町10  
TEL 075-712-8701 (代表)

<http://www.kikunokai.co.jp/>

Dancing from the heart



Photo Hiroshi Mizobuchi

## 猛暑から時空を超えて

舞踊集団 菊の会

代表 畑道代

この夏の猛暑は記録に残る程でしたが、如何お過ごしでしたらっしゃいますか。

今年の強烈な暑さを忘れたかったせいか、せめて夏の終りのひと時を自由な時間が欲しいと菊の会創立以来初めて、思い切ってふらりと一人で山口へ出かけました。

それは山口県立大学創立六十周年を記念して「近松国際フォーラム」が八月二十七日から三十日まで開催されるという、その内容になぜか抑えられない魅力を感じたからです。

その催しは、まず山口県立大学の岩田啓靖学長の開会の挨拶から始まり、早稲田大学名誉教授・実行委員長鳥越文蔵博士から開催の経緯、続いてドナルド・キーン博士(コロンビア大学名誉教授)の基調講演「近松の文学」。次に楽しみにしていたシンポジウム、テーマは「近松は世界に翔く!」司会には渡辺保教授(淑徳大学・演劇評論家 スピーカーはA・ガーストル教授(ロンドン大学東洋・アフリカ研究所) 阪口弘之教授(大阪市立大学) 中村鴈治郎氏(歌舞伎俳優・人間国宝・芸術院会員・近松座主宰) 原 道生教授(明治大学)等によるものでした。

中村鴈治郎氏はロンドンで公演された近松門左衛門作「曾根崎心中」の話にふれ、終演後、スタンディングオベーションの中、くり返されるカーテンコールへの対応の様子等その熱気が伝わって来ましたが制限時間が迫り大変残念でした。

この四日間の催しのうち九人(五人が外国人)の方から研究発表が行われ、いづれも興味深い内容のものでした。特に心に残ったのはヴェネチア大学のB・ルベルティ助教授の「近松門左衛門の時代浄瑠璃における謡曲からの引用」と早稲田大学院博士課程の金京欄氏の「近松浄瑠璃における女同志の義理」妻と遊女の間」で、韓国の場合儒教倫理に発する勸善懲惡的な内容が多く、類型化された作品に馴れている金氏にとつて近松晩年の作「心中天の網島」の治兵衛をめぐる女房おさんと遊女小春の女同志の義理という高次元の愛のあり方として女性を描いた所に深い感動をおぼえたと言った事でした。

そして近松作品の現代化の実験劇場公演が時空を超えた近松物語として「用明天王取人鑑」―道成寺の原点といわれている―が素晴らしいルネッサナなどが(舞台機構、十間四方、廻り舞台、昇降式本花道、すっぽん、大小廻り、文楽廻し、客席数約八百)で行われ、近松作品が現代に甦りを果たした。

残る桜の花しにははば

近松門左衛門の辞世の言葉です。

花の生命は短くとも、桜の版本で作った本(作品)は生き続ける―と。日本は近年経済のみを追った付けが今、津波の様に押し寄せていると言われているが、「近松国際フォーラム」は時空を超えて匂い立つ人間の心に共感された方々の意義深い発信と感謝しつつ、美しい山口の自然に心残して帰路につきました。

近松門左衛門の辞世の言葉です。

花の生命は短くとも、桜の版本で作った本(作品)は生き続ける―と。日本は近年経済のみを追った付けが今、津波の様に押し寄せていると言われているが、「近松国際フォーラム」は時空を超えて匂い立つ人間の心に共感された方々の意義深い発信と感謝しつつ、美しい山口の自然に心残して帰路につきました。

近松門左衛門の辞世の言葉です。

花の生命は短くとも、桜の版本で作った本(作品)は生き続ける―と。日本は近年経済のみを追った付けが今、津波の様に押し寄せていると言われているが、「近松国際フォーラム」は時空を超えて匂い立つ人間の心に共感された方々の意義深い発信と感謝しつつ、美しい山口の自然に心残して帰路につきました。

# 2001年、海外初の菊の会公演を ニューヨーク、ロサンゼルスで開催！

新世紀を飾る菊の会の海外初の自主公演がニューヨークとロサンゼルスで盛大に開催された。この公演は文化庁アーツプラン21、(財)東京都歴史文化財団からの助成を頂き、又、在ニューヨーク日本国総領事館、朝日新聞インターナショナル社、国際観光振興会、日米協会、の御後援を頂き、ロサンゼルスでは木原敏之氏、山口みづる氏そしてメリンスプロダクションの伊東容子氏、の御協力で実現する事が出来た。

ニューヨーク公演はダニーケイプレイハウスで3月9日〜11日、ロサンゼルス公演はジャパンアメリカシアターで17日〜18日に行われ、各会場とも超満員の観客で、各地の新聞社が当日の公演の様を取り上げた。

又ニューヨーク市のルドルフWジュリアーニ市長から菊の会への歓迎のメッセージが贈られ、ロサンゼルス市から感謝状を西ハリウッド市から推薦状が、又最後はスタンディングオーベーションの中、地元の敬老引退者ホーム、敬老看護ホームからの感謝状が舞台上で手わたされた。

# New York



## NEW YORK REPORT

### 「菊の会」の日本舞踊に ニュー Yorker が「ブラボー！」

鈴木瑠美子 (NY在住/アートディレクター)



ニューヨーク公演終了後のレセプションの席上、熱い歓迎を受ける畑代表

二〇〇一年三月九日、日本舞踊集団「菊の会」がニューヨーク市立ハンター大学のケイブレイハウスでアメリカ公演の幕を開けた。前評判を反映して、初日の会場は立ち見客もでるほどの盛況で、日本領事館河村大使やニューヨーク市長代理、ニューヨークタイムズの舞踊評論家アンナ・キセルゴフさんたちも来場。日系の人々より地元ニューヨークの姿が観客席に多く見られた。

公演は第一部が日本の四季の移り変わりを叙情的に表現した「風道(The Wind Path of the Wind)」、第二部は菊の会代表の畑道代氏が若竹の精を舞う独り舞台。長唄「乙女竹(Bamboo Maiden)」、第三部はダイナミックかつアップビートな民族舞踊でクライマックスを飾った「海はるか日本を躍る(Dances from Japan Far across the Sea)」の三部構成。伝統的な日本舞踊と前衛的なコレオグラフィイ振り付けのゴラボレーションが大きな感動を呼び、フィナーレでは「ブラボー！」の掛け声とともに惜しめない拍手が送られた。

菊の会は一九七二年に尾上菊之丞に長年師事してきた畑氏が旗揚げをし、幼少から入門している舞踊家を育て上げてきた。これまでにも日本国内で文化庁主催による芸術祭で優秀賞等の数々の賞を受賞し、アメリカ、ヨーロッパ、インド、オーストラリア、東南アジア、中近東など、世界公演を次々と果たしている。

## 舞踊家の 条件



舞踊評論家

山野博大

舞踊家になるには、どのような条件をクリアしなければいけないのだろうか。普通の人の目には、舞踊をやるためには何か特別な才能を必要とするように見えているらしい。

しかしほんとうにそうだろうか。たしかにリズム感が良いとか、スタイルが良いとか、身のこなしが軽いかという人は、舞踊に向いているように思える。しかし、天がそういう条件を与えてくれなくても、舞踊をやるにはいっそうに差し支えはないらしい。最近では、からだに障害のある人たちも踊りの世界に入ってきて、自分の与えられた条件を上手に使って、それぞれに「自分の」舞踊を踊るようになっていく。国際舞踊コンクールで片足が無い人だけの中国の

台であった。ニューヨーク市の消防法の条例で、舞台装置の一部が使えなくなりそうになったりと、当事者にはヒヤリとするような一幕も舞台裏ではあったという。

公演終了後のレセプションパーティーは、ジャパニーズダンサーを問津で見ようという人でいっぱいになり会場は熱気にあふれた。ポスターで公演を知ったというハンター大学の学生は

舞踊団が賞を取ったこともあるし、イギリスには車椅子に乗っている人たちがみごとな芸を見せる舞踊団もある。日本でも、このところこういう動きが目立つようになっていく。

どうも舞踊家の条件は、肉体的条件よりも踊りたいという気持の強さにあるようだ。障害を持つ人たちの踊っている時の目の輝きを見てみると、気持さえあればどこにでも道は拓けるといことが実感として理解できる。

それぞれに持っている条件に合わせて、多くの人が踊る喜びを自分のからだから味わってみることのできる時代がやって来たようだ。二十一世紀はやはり舞踊の時代なのだ。

を感じた。いろんな舞台を見ていくが、これほど完成度の高い演出は初めて」と公演の質の高さを絶賛。また音楽家でギター奏者のアンソニー・アラソンさんは「照明と衣装の色に度肝を抜かれた！音楽も最高！あの三味線の音をギターで出せるかどうか試してみたい。」等々、日米文化交流のすばらしさとその重要性を再認識させられた。

ニューヨークの若者達と

Notes on the performance

YEAR 2001 US TOUR

# 「菊の会」が育むもの

Direct from Tokyo  
to NY&LA

羅府新報社  
編集長 長島幸和



上、ジャパンアメリカシアター前にて 下、スタッフと出演者との打ち合わせ

# Los Angeles

舞踊集団「菊の会」の舞台を見ました。独創的な美しいステージにみとれながら、私は文化を育むということの意味について改めて考えさせられました。

こちらで活躍している日本舞踊の専門家は「スピーディーできびきびしていてここまでよくトレーニングした」と評価、「控え室では整列してリーダーが来るのを待っていた」と、メンバーの若者らの態度やチームワークにも感心していました。

私は今の日本にこうした文化が育っていたことに、一種の驚

きと感動を覚えました。伝統を踏まえながらも、それを新しい形で見せる。日本の古典的な踊りを期待していた人には、確かにちよつと付いていきずらかったのではないかと思いますが、日本の伝統がこうした形で世界の人々に、特に若い人々に幅広く受け入れられていくことは素晴らしいことです。

最後の阿波踊りが終わってから、踊り手たちはみんな出口のところまで観衆一人ひとりに礼を言いながら握手をしていました。舞台上で流した汗が、笑みを湛え

た顔からまだ滴っています。そんな若い日本の人々たちを目の当たりにしながら、最近日本から伝わる若者からみへの暗いニュースが吹き飛んでいくように感じたのは私一人ではなかったでしょう。そして、そこに新しい文化を育てるための基本を見たようにも思いました。これからも伝統を真つ直ぐに受け継いで、しっかりと自分のものにしてほしい。心から願うとともに、自らの襟を正さずにはおられませんでした。

〔3月27日付けの「羅府新報」掲載の磁針より抜粋。〕

## 全国舞踊コンクール5年連続上位入賞

# 畑道代(尾上菊乃里)に特別指導者賞



右から  
山沢弘子  
桑島真由美  
山沢優子

「尾上菊乃里」の多岐にわたる活躍が、舞台踊りもさることながら、舞台美術、照明、演出、音楽等、全体のクオリティが追求された舞

台。日本にいるんじゃないかと思ってしまう」と興奮冷めやらぬ表情。また、美術学校の講師モーデ・ボルツさんは「日本のワビ・サビ(Subtle)

去る4月15日、東京新聞社主催全国舞踊コンクールの本選が行われ邦舞第一部で担当講師の桑島真由美さんが「浜松風」で2位をまた邦舞第二部で中杉教室の山沢弘子さんが「たけくらべ」で1位、同じく妹の山沢優子さんが「手習子」で3位を獲得しました、このほか中杉教室の瀬明良くんが入賞しました。

これで菊の会として5年連続で上位入賞を果たしました。その実績に対し畑代表に「みやこ賞」「特別指導者賞」が贈られその功績が称えられました。そして入賞者達へは、今後の期待の声が多く寄せられました。

尚9月23日には上位入賞者によるアンコール公演が4時半より五反田ゆうぽうとで行われます。



# 心に染みる歌、三味、艶やかな舞姿に喝采



「博多節」を舞う畑代表

民謡研究会(三隅治雄会長)主催の第二回民謡定席特別公演「歌い継ぐ日本人の心のふるさと」と銘打たれ7月14日文京シビック大ホールで開催されました。盛り上がった公演の最後は民謡界をリードする斉藤京子さんの唄、本條秀太郎さんの三味線で畑道代代表が「博多節」を艶やかに舞い盛んな拍手が送られました。



# Information

Kikunokai News

## 秋涼の菊の会公演予定

菊の会友の会総会及び懇親パーティー

9月22日(土) ホテルニューオータニ 芙蓉の間

5時総会 6時懇親パーティー

「全国舞踊コンクール アンコール公演」

9月23日(日) 五反田ゆうぼうと 4時半開演

〈2001年秋の菊の会公演〉

舞踊劇「カッチャいかねかこの道を」

各会場2時・6時半開演予定

11月14日(水) 栗橋町総合文化会館

16日(金) 鹿島勤労文化会館

17日(土) 江戸川区総合区民ホール

18日(日) 中野ゼロ大ホール

20日(火) 所沢市民文化センター中ホール

22日(木) 川越市民会館 やまぶき会館

23日(金) 日野市民会館

24日(土) 志木市民会館

【九州民音公演】日本のおどり

12月 3日(月) 鹿児島市民文化ホール

5日(水) 宮崎市民文化ホール

6日(木) 延岡総合文化センター

7日(金) 大分文化会館

2002年

「日本のおどり」(狭山市民会館共催公演)

1月27日(日) 狭山市民会館 時間等未定

※やむを得ず変更する場合がありますので、ご来場の節はご確認下さいますようお願い致します。

## この秋、友の会懇親パーティーを開催

来る9月22日ホテルニューオータニ芙蓉の間で友の会の総会(五時から)懇親会(6時半から)が行われます。日頃御支援下さる皆様と、落ち着いた正餐パーティーでゆっくりとお食事をして頂きながら公演メンバーによるエンターテイメントのステージをお楽しみ頂き、吉例の抽選会は今年も豪華賞品をご用意していますのでどうぞ御期待下さい。秋の一夜を皆様お誘い合わせの上御来場賜ります様、心からお待ち申し上げます。

菊の会20周年記念  
「友の会懇親パーティー」より  
(全日空ホテルに於いて)



### 【問い合わせ】

記念ツアー、学校公演、広告や上記の詳細等のお問い合わせは  
03-5983-6001 舞踊集団 菊の会 「企画部」までご連絡下さい。  
Kikunokai ホームページ <http://www.kikunokai.co.jp/>

## 感動の拍手! 輝く若さと光る汗!



第3回

## さつき会



今年で3回目を迎えたさつき会(若者達の舞踊会)が恒例により5月5日に北区の北とびあで開催された。次代を担う少年少女49名が出演。第1部は中学生高校生5名による「石橋」、女性5名の「藤娘」そして若手公演メンバーによる「釣女」を、第2部では「燃えよ日本列島」で各地の民謡全15曲をダイナミックに展開。熱気溢れる舞台に終演後、興奮した観客が楽屋につめかけ、出演者観客共に、さめやらぬ汗と涙的一幕となった。最近聞く、同年代のあまりにも暗いニュースの多い中、未来を担う澆刺とした、好青年好少年に惜しめない拍手と期待がよせられた。

## Coffee Break

Essay

### 『今、想うこと』

公演メンバー  
青木有子

江戸大神楽の獅子舞が会場後方から飛び出して行くと同時に「ワァーキヤァ」と子供達の歓声がある。これは、小学校での学校公演の冒頭の生徒達の様子です。獅子頭に怒る怒る触れてみたりする子もいれば、足にとびついたり、尻尾を引っぱったり、叩いたりする子もいます。殆どの子が獅子舞を見るのが初めてらしく、どの子も興味深げに嬉しそうな顔をしています。私は舞台の袖でその様子を見守りながら、「この学校で芸術鑑賞教室の機会をつくって下さるから、そ、沢山の生徒さん達に日本の伝統芸能を知ってもらう事が出来た」と大変嬉しく思うのです。菊の会が学校公演を始めた当初、日の出と共に出発し、学校の体育館の掃除から設備の準備をし、公演を行ってきました。そんな中、とくに両親や先生に反抗的に見える生徒さん達から鑑賞後「とても面白かった」「本当に良かった」「すごく綺麗だった」「来年もまた来て下さい」と声をかけられ、おまけに太鼓の片付けまで手伝ってくれたりすると、その嬉しさは何倍にもなり、改めて学校公演の大切さを痛感いたします。私は小学校四年生の時に母に連れられ、菊の会に入れて頂き畑代表のもと今日までお稽古を続けて来ました。私が短大一年生の時の事です。盛大な文化祭が行われ、モスクワの著名なお客様の前で日舞を踊らせて頂く機会がありました。その時、主催者や友人達から「この大学に日本舞踊がこんなに踊れる学生がいたなんて」と大変喜んで頂きました。その時は、嬉しさと同時に「海外ではどの国でも自分の国の歌や舞踊を誇りとして、小さい頃から身に付けているのに、なぜ日本は…」と感じ、自分の学んで来た事の大切さを実感した事があります。日本人なので着物も着たいだろうし、踊りも踊りたいだろう、いや、そう思うてもらいたいと強く思いました。これからは更に良いものに触れ、学び、大切な日本の美、日本の心を受け継いでいける様頑張ります。



プロフィール  
青木有子

Yuko Aoki  
1979年畑道代に師事  
菊の会公演「追分の女」忍役(畑代表の妹役)  
1999年全国舞踊コンクール(東京新聞主催)邦舞第一部で三位入賞